



今年の高校入試の分析からこんなことがわかりました！

合格者の社会の平均点は、52.7点

☆正答率(※)が高かったのは、各分野とも基礎的・基本的な知識を問う問題です。特に、地理的分野及び公民的分野の学習をとおして、知識及び技能の定着が図られています！



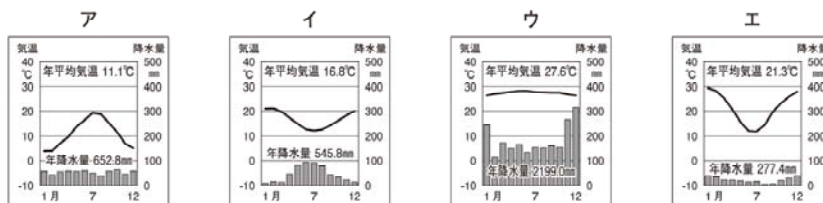
特徴的な問題を見てみましょう！

1 地理的分野



南アフリカ共和国のbケープタウン近郊では、夏の乾燥に強いぶどうが栽培されている。

1(2) 三恵さんは、資料1の下線部bについて、ケープタウンの気候を調べ、雨温図を作成しました。ケープタウンの雨温図を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



(2019年版「理科年表」他より作成)

<標準解答>  
イ

<ねらい>

この問題は、南半球に位置するケープタウンの気候の特色について、地図と資料を基に考察し、適切な雨温図を選択する問題でした。

<分析>

正答率は、20.3%でした。課題としては、赤道や北半球・南半球の意味を理解し、地図を活用して地球を大まかにとらえることや気候などの自然環境に関する特色を地図から読み取ることができていないことなどが考えられます。

<提案>

授業では、地理的事象がなぜこの地域に見られるのか、既存の地図から読み取ったり、地図を通して追究したりとらえたりする技能を育成していくなどの工夫も必要です。



「分かる！・できる！」まで教えよう！(授業改善のkeyword)  
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！  
詳しい分析は、報告書や県教育研修センターのHPをご覧ください！

(※)正答率については、合格者4,055人の中から、無作為に抽出した630人(15.5%)分のデータです。